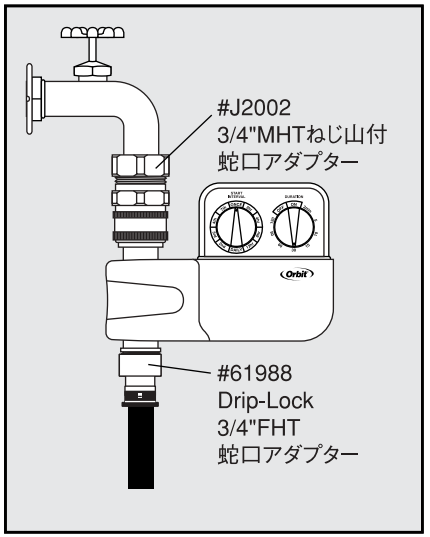
オートマチック蛇口タイマー

取扱説明書

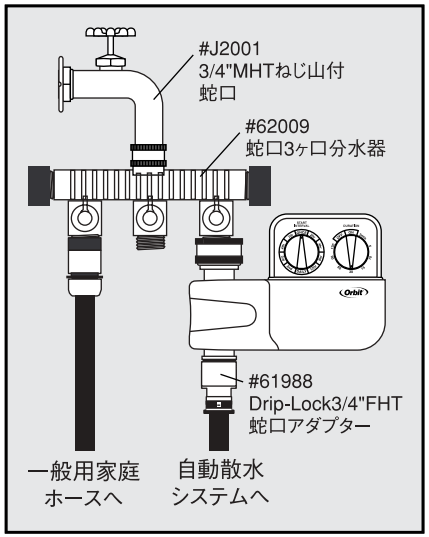
model#62015

タイマーの取り付け

［蛇口アダプターに取り付ける場合］



［蛇口3ヶ口分水器に取り付ける場合］



製品仕様

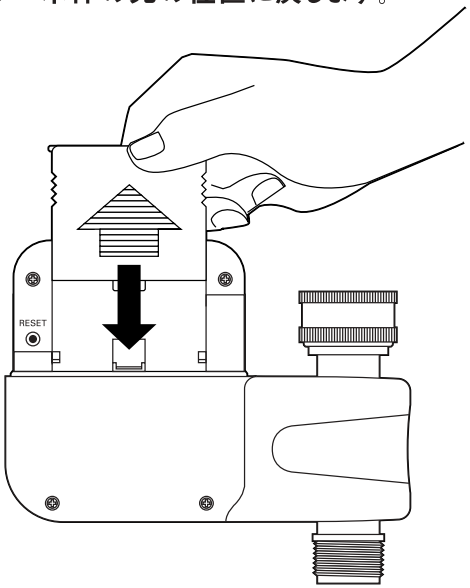
・動作温度 0-50℃

機能

・散水の頻度と散水時間の長さの設定が出来ます。
・単三電池（3本）（別売）による作動
・10種類の散水頻度が選べます
・10種類の散水時間が選べます。
・自動散水設定を変えることなく必要時に手動にて散水が行なえます。
・防水設計
・頑丈なバルブ内蔵設計
・低消費電力

電池の入れ方

1. 半透明のタイマーカバーをとります。
2. タイマーの裏側の電池ボックスを矢印の方向にスライドさせボックス取り外し、アルカリ単三電池を3本入れます。
3. ボックスをタイマー本体の元の位置に戻します。

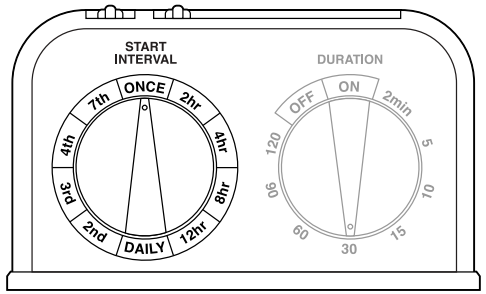


Note: 電池の寿命が短くなってきた場合にはバルブは開かないようにており、設定した時間に散水が行われません。
その際には新しい電池と交換をして下さい。新しい電池と交換された際タイマー裏面の「RESET」ボタンを押してください。
電池はアルカリで約1年間保ちます。

自動散水の設定

1. 散水頻度の設定 (ダイヤルA)

まず散水頻度の設定を行います。ダイヤルAをまわし希望する散水頻度を設定して下さい。



頻度は下記の10通りです。

・ONCE - 1度だけ散水を行い自動的に散水を止めます。
・2hr - 設定を行なった時刻から2時間おきに散水します。
・4hr - 設定を行なった時刻から4時間おきに散水します。
・8hr - 設定を行なった時刻から8時間おきに散水します。
・12hr - 設定を行なった時刻から12時間おきに散水します。
・DAILY - 毎日、設定を行なった時刻に散水します。
・2nd - 1日おきに設定を行なった時刻に散水します。
・3rd - 2日おきに設定を行なった時刻に散水します。
・4th - 3日おきに設定を行なった時刻に散水します。
・7th - 週1回、設定を行なった時刻に散水します。

[注] 設定を行なった時刻がタイマーが作動する時刻の基準となります。
設定した時刻はタイマー上部にあるスライダーに記憶できます。

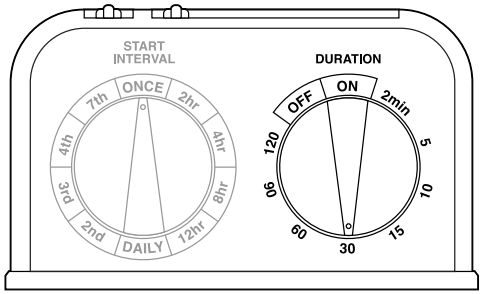
例）設定が正午に行われ、お選びになられた頻度が4時間おきの場合、午後4時に最初の散水が開始されます。その後午後8時、午前12時…と4時間ごとに散水を行います。すぐに散水を行ないたい場合、手動にて散水を行なって下さい。

[注] タイマーは設定してから1秒後に作動します。

[注] ダイヤルAを回すたびに散水頻度の設定がリセットされます。

2. 散水時間の長さの設定（ダイヤルB）

次に1回の散水の長さを設定します。ダイヤルBを回して希望する散水時間を設定して下さい。



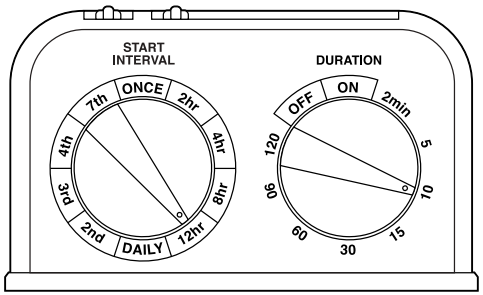
散水時間は10通りあります。

・OFF - バルブが閉まった状態です。散水を停止します。
・ON　- バルブが開いた状態です。散水を行います。
・2min→2分、5→5分、10→10分、15→15分、30→30分、60→60分、90→90分、120→120分

[注] 散水中に散水時間を変更したい時は、散水中にダイヤルBを希望する散水時間に合わせて下さい。すでに散水が行われた時間に関係なく新しく設定された時間散水を行います。

例）もし午前6時と午後6時の1日2回10分間散水を行いたい場合

午前6時又は午後6時に設定を行なってください。先ずダイヤルA回し、散水頻度を「12th」(12時間おき散水)に合わせます。次にダイヤルBを「10」に合わせます。設定した時刻から12時間後に毎12時間おきに10分間散水を始めます。



[注] 設定を行なった時に散水を行いたい場合は、ダイヤルBを「ON」にして手動で散水を行ってください。

その他の散水

1回散水 （設定した時間分1回だけ散水し自動的に散水をとめます。）

ダイヤルAを回して「ONCE」に合わせます。ダイヤルBを希望の散水時間に設定をします。バルブが開き、設定された時間散水が行われます。散水が完了するとバルブが自動的に閉じ散水を止めます。あらたに頻度設定（ダイヤルA）を行なわない限り、タイマーは作動しません。

手動散水

ダイヤルBの散水時間ダイヤルを「ON」に合わせます。バルブが開き散水を始めます。ダイヤルを「OFF」にするまで散水し続けます。ダイヤルBを「ON」にし散水を始めた後、ダイヤルBを回し希望の散水時間を選択するとその時間分散水が行われ自動的に止まります。
手動による散水が行われても、もともと設定されている散水頻度には影響はありません。手動散水後、希望の散水時間にダイヤルBを合わせておけばまた設定された時間に自動的に散水を始めます。

[注] ダイヤルAを動かさない限り、自動散水の設定は変更されません。

[注] タイマーは設定してから1秒後に作動します。

[注] ダイヤルAを回すたびに散水頻度の設定がリセットされます。

バルブの閉じ方　（散水の停止の仕方）

ダイヤルBを「OFF」に合わせます。この状態が選択されている場合、バルブは開かれず、散水時刻になっても散水は行われません。

電池残量

電池の残量が散水を作動するに満たない場合、バルブが閉じるようになっています。電池の残量が少ない場合、ただちに新しい電池と交換下さい。

メンテナンスとお使いにならない場合の取り扱いについて

・長い期間お使いにならない場合や冬季には蛇口よりタイマーを取り外して下さい。
・バルブの開閉（ON,OFF）を数回繰り返すと中に給っている水を排水することが出来ます。
・電池をはずし、電池の接触部分を拭いてください。電池の腐食などが見られる場合は電池を交換して下さい。

上手く作動しない場合のチェック項目

□ 電池は正しい向きにきちんとおさまっていますか?
□ 新しい電池をお使いですか?
□ 蛇口は開いていますか?
□ ダイヤルBを“ON”に合わせて手動にて散水を行ってみましょう。

MEMO